

そもそも生徒総会とは

総会は生徒会の最高機関です。生徒会活動を行ううえで、必ず通らなければならない機関です。毎年以下のことは必ずしなければなりません。

- (1) 生徒会規約の改廃
- (2) 予算の決定と決算の承認
- (3) 生徒会活動計画案の決定と反省
- (4) その他，会の目標達成に必要な重要事項の審議決定

通常、総会は5月に開きますが、会長が必要と認めるとき・全会員の過半数の要求があったときには別途開かなければなりません。

今年度は、校則改正に関する臨時総会を実施する考えです。



昨年度の生徒総会

質問・意見を積極的に挙げましょう。

生徒総会では、自身が所属していない委員会の活動や予算の使い方について知り、あなたの考えを伝えたり質問することのできる

1年に1度の機会です。学級討議、生徒総会では自由に質問・意見を挙げる事が可能です。

質問や意見の例

「この活動はいらなと思う」

「〇〇のために〇〇委員会にはこれをしてほしい」

「〇〇という課題を改善してほしい」

「学校の活性化のために〇〇はできない？」

「学校生活で〇〇に困っています」

「この校則・ルールに困っている」

「なんでこれは廃止したの？」

「〇〇委員会でこんなものを購入してほしい」

「私はこう変えていきたい」

令和6年度 生徒総会 会順

令和6年度5月30日(木) 5、6時間目

〈1〉 開会（中山晴葵）

〈2〉 第108期生徒会執行部紹介

〈3〉 議長の選出

〈4〉 議事

第1号議案「生徒会規約の改廃」

第2号議案「令和5年度会計報告及び令和6年度予算案」

第3号議案「令和6年度生徒会活動計画」

第4号議案「今後の校則改正に関して」

〈5〉 議長解任

〈6〉 校長先生のお話

〈7〉 閉会（中山晴葵）

第1号議案「生徒会規約の改廃」▼現規約

第1章 総則

第1条 この会は大津中学校生徒会という。

第2条 この会は私たちの協力と自主的活動によって、私たちの学校生活の改善と向上を図ることを目的とする。

第3条 この会の会員は大津中学校の全生徒とし、先生方を顧問とする。

第2章 組織及び役員

第4条 この会には次の機関をおく。

- (1) 生徒総会 (2) 生徒議会
- (3) 執行委員会 (4) 委員会
- (5) 学年会

第5条 この会には次の役員をおく。

- (1) 会長 1名 (2) 副会長 2名
- (3) 書記 2名 (4) 会計 1名

但し、年度途中で欠員が出た場合、以下のように役員をおく。

- ① 会長が欠員の場合、副会長が会長となる。
- ② 副会長が欠員の場合、会計もしくは書記が副会長になる。
- ③ 会計もしくは書記が欠員の場合、副会長もしくは書記が兼任する。
- ④ 委員長が欠員の場合、副委員長が委員長となる。

第6条 役員は全校生徒の選挙によって選出する。選挙規約は別に定める。

第7条 役員の任期は、11月1日より翌年の10月31日までとする。

第8条 役員の任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は本会を代表し、生徒総会・生徒議会・執行委員会の招集と、議事運営を行う。
- (2) 副会長は会長を助け、会長不在のときはその代理をつとめる。
- (3) 書記は生徒総会・生徒議会・執行委員会等に関する事務及び記録を取り、関係書類を保管する。
- (4) 会計は本会の会計事務を行い、関係書類を作成し保管する。

第3章 総会

第9条 総会は生徒会の最高機関となり、本校生徒全員で構成する。

第10条 総会は次のことを行う。

- (1) 生徒会規約の改廃
- (2) 予算の決定と決算の承認
- (3) 生徒会活動計画案の決定と反省
- (4) その他、会の目標達成に必要な重要事項の審議決定

第11条 定期総会は前期(5月)に開く。ただし、会長が必要と認めるとき、又は全会員の過半数の要求があったときは開かなければならない。

第12条 総会の議長団は2名とし、執行委員会で会員の中から選出し、総会の承認を得て会の運営にあたる。

第4章 生徒議会

第13条 生徒議会は各学級男女の学級委員と執行委員によって構成される。

第14条 生徒議会は月1回開き、必要な場合は臨時議会を開くことができる。

第15条 議員の任期は、4月当初より3月31日までとする。

第16条 議員は議会において1票の投票権を有し、2つ以上の団体を代表することはできない。

第17条 議会は生徒会の目的を実現するのに必要な事柄を決議する。

第18条 議会の役員は、議長1名、副議長1名をおき、議長、副議長は議員の中から互選する。

第19条 議長・副議長は生徒議会の議事運営にあたる。

第20条 議長は必要に応じて各団体の代表を議会に招集し、意見を聞くことができる。

第5章 執行委員会

第21条 執行委員会は生徒会役員と各種委員会委員長各1名により構成する。

第22条 執行委員長には生徒会長があたり、会を代表し指導する。

第23条 執行委員会は予算及びその他の議案を提出し、生徒議会の決定事項を執行する。

第 24 条 執行委員会は、学年会の自主的活動を促進する。

第6章 委員会

第 25 条 委員会は生徒議会決定事項の執行にあたるとともに、各委員会に属することがらに関する自主的な活動にあたる。

第 26 条 委員会には次のものをおき、委員は各学級より選出する。

生活委員会 環境委員会

文化委員会 図書委員会

放送委員会 保健委員会

体育委員会 給食委員会

奉仕委員会 人権委員会

第 27 条 委員会の委員長は役員が会員の中から選出し、生徒会員の承認を受け、任命する。

(1) 委員長の任期は 12 月 1 日から翌年の 11 月 30 日までの 1 か年とする。

(2) 学級選出委員の員数は、協議によって年度初に決定する。

第 28 条 委員会は次のようなことがらに関する活動を行う。

生活委員会…学校内外の規律の順守と風紀の向上改善、交通安全・生活安全に関する活動全校集会の企画、運営。

環境委員会…校舎内外の清潔整理美化、校内の営繕、大中クリーン大作戦の活動、花壇の整備・管理。

文化委員会…音楽・美術・文芸・書道・演劇・弁論など文化に関する全校的な催しや学校新聞の編集・出版、掲示の活動・管理。

図書委員会…図書の購入や図書館の運営の仕事のほか、良書推薦、新刊紹介、読書週間などの活動や広報、集会に関すること。

放送委員会…校内放送、集会時の放送器具の準備と管理。

保健委員会…保健衛生に関する諸調査、情報・資料の収集提供、校舎内外の衛生、健康維持に関する活動。

体育委員会…体育活動についての校内大会やレクリエーション行事、体育施設の点検活動等。

給食委員会…給食活動の維持、改善に関する諸活動及び給食に関する諸調査。

奉仕委員会…福祉施設等の訪問や見舞い・慰問・募金など校内外の奉仕活動。

人権委員会…人権集会の計画実施、人権学習の実施。

第7章 特別委員会及び各団体

第 29 条 必要に応じて特別委員会が設けられ、任務が終わると解散する。

(1) 選挙管理委員会

(2) その他必要とする委員会

第 30 条 各学年・各学級の役員はそれぞれの団体において直接選挙する。役員の任期は学級選出議員の場合、(第 15 条)と同じにする。

第8章 会計

第 31 条 この会の経費は毎月の会費をもってあてる。

第 32 条 この会の会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

第9章 付則

第 33 条 すべての会議は会員の 3 分の 2 以上の出席を必要とし、その決議は出席者の過半数の賛成がなければならない。賛否同数の場合は議長が決定する。

第 34 条 この規定によって決められたすべての決議は、校長先生の承認を得て実行される。

第 35 条 議会の傍聴は自由であるが、発言の場合は議長の許可がいる。

第 36 条 顧問はすべての会を指導し、発言権がある。

第 37 条 規約の改正は全会員の 3 分の 2 以上の賛成と校長先生の承認を得て決定される。

改廃点(案)

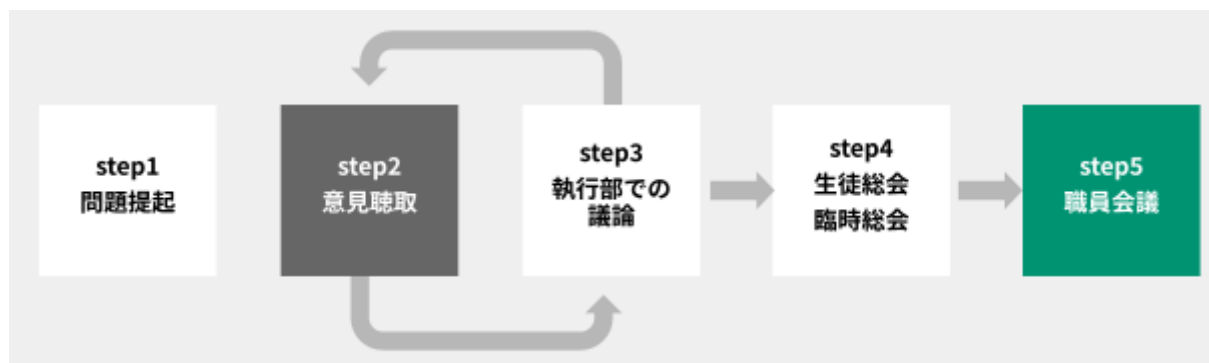
▶付則への追加

・校則を年に1度必ず見直すよう定める

(校則は、1度変えたらそこで決定するわけではありません。

常に変わり続けるのが正しいあり方なのです。なぜならば、時代の変化や流れに応じて人の考え方、価値観などは変わります。もし、一度変えてそれで決定してしまうと、現に問題提起しているような合理的ではない校則になりかねません。)

・校則改正への手順を示す



▶生徒会四役の役職

会計としての仕事が少ないため、「会計」→「広報」などに変更する

▶第4章 生徒議会に議会の機能を追加する

本来、生徒議会は、①執行部の活動状況を承認・点検する ②各学級、学年からの意見を提案する、深める場であるが、そのような議会の機能が規約に明記されていない。明記することで、生徒議会の活性化にも繋がると考えます。

▶第6章 第28条の変更

各委員会の活動の幅が、記載された内容のみに制限されているため、それぞれの項目に「など」を追加します。

第2号議案「令和5年度会計報告及び令和6年度予算案」

令和5年度 生徒会活動費会計報告

【収入の部】

項目	金額（円）	備考
前年度繰越	121,749	
生徒会費（3年生）	43,800	300円×146名
生徒会費（2年生）	46,200	300円×154名
生徒会費（1年生）	48,000	300円×160名
計	259,749	

【支出の部】

項目	金額（円）	備考
生徒会スローガン旗代	15,835	
委員会ファイル代	10,500	11委員会×13学級
学級費	42,706	
委員会費	8,971	5委員会/11委員会
花代	26,000	退任式2,000円×13名
計	104,012	

(収入) 259,749円－(支出) 104,012円＝(残高) 155,737円
上記の通り会計報告致します。

なお、残金は令和6年度生徒会活動費へ繰り越します。

令和6年3月31日 大津中学校生徒会会計 山野宇由八

監査の結果、上記の通り相違ありません。

令和6年3月31日 大津中学校

阪口 紳悟

令和6年度 生徒会会計予算（案）

1.歳入

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
繰越金	155,737	121,749	33,988	
徴収会費	95,000	137,700	-42,700	200円×475人
雑収入	0	0	0	
合計	250,737	259,449	-8,712	

2.歳出

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
本部活動費	50,000	50,000	0	
学級活動費	0	52,000	-52,000	本年度から学級費 200円に変更
委員会活動費	110,000	55,000	55,000	10,000円×11委員会
体育大会実行費	20,000	20,000	0	
合唱コンクール実行費	20,000	20,000	0	
人権学習活動費	5,000	5,000	0	人権集会に向けての学習を 隣保館などとするための移 動費
予備費	45,737	57,449	-11,712	
合計	250,737	259,449	-8,712	

歳入 250,737 — 歳出 250,737 = 0



生徒会四役

会長：濱田慧斗 書記：糸永心幸・渡辺実咲
副会長：中山晴葵・大田黒一斗 会計：山野宇宙八

学校教育目標

自立・協働・創造
～みんなの笑顔があふれる学校～

この委員会の活動テーマ
いい意味で「変わったな」と思える大中

【この委員会で目指す大中学生の姿】

- 自信を持って自分の考えを主張できる大中学生
- 毎日楽しみがあり、毎日登校している大中学生
- 良し悪しの判断や自発的な行動ができる大中学生

達成度
100
80
50
30
0

テーマ活動

4～5月

- ・挨拶運動・年間クラスチャレンジの廃止
- ・予算の使い方の決定
- ・体育大会新種目追加
- ・大中ブランドの見直し(無言掃除に関して)
- ・校則改正へ向けた議論(ベタスク会議にて)

6月

- ・生徒モニター制度の実施

7月

- ・校則改正へ向けた他校との議論

8・9月

- ・校則改正に関する臨時総会
- ・レクリエーション

10月

- ・大津町児童生徒集会の宣言文作り

11月

- ・大津町児童生徒集会の進行

【学校を支える常時活動】

- ・生徒会広報
- ・生徒モニター制度
- ・ベタスク会議
2週間に1度行う、執行部での会議
- ・本校ホームページの更新
- ・式典時の整列
- ・各委員会の活動の形骸化改善
- ・各行事の進行
- ・校則改正に向けた議論

コラボ企画

(この委員会と関わる、学校行事・他委員会の活動・校外とのつながり)
・校則改正を実現した学校との議論(8月)

【この委員会における大中学生の現状】

前年度までの成果や現状の課題

- 生徒会活動に関心がない
- 目標に対する熱意に偏りがある
- 行事などに積極性がない
- 挨拶が会釈だけ・返さない場合がある



今年はここが革新!

従来の活動の抜本的な見直しや新たなことへの挑戦に入れています。
例えば、校則改正や生徒議会の再建などがその例です。
前例にとらわれない、ゼロベースの活動にご期待ください。

1月

準備期間

4月

前期前半

前期後半

10月

後期前半

12月



学級委員会

委員長：岩下未来 副委員長：坂田瑛汰

学校教育目標

自立・協働・創造
～みんなの笑顔があふれる学校～

この委員会の活動テーマ

学校全体の仲が良い大中

【この委員会で目指す大中学生の姿】※目指す姿が達成されている具体の姿

- 交流を通して学校全体の仲が良い大中学生
- 時間を守り、メリハリをつけた行動ができる大中学生

達成度
100

テーマ活動

- 5月 学級討議・生徒総会
- 8・9月 交流
(体育委員とコラボ)
- 9月 前期の反省
- 1・2月 卒業企画
- 3月 一年間の反省
- ※一年を通して「交流」
(学校行事等でできない月あり)

【学校を支える常時活動】

- ・朝・授業時・帰りの号令
- ・出席簿の回収
- ・学級会の司会・進行
- ・生徒議会への参加

80

50

30

0

【この委員会における大中学生の現状】

前年度までの成果や現状の課題

成果

- 交流
学級、学年の仲を深めることができた

コラボ企画

- ・8・9月 他学年との交流(体育委員会)
- ・未定 美化作業(環境委員会)



今年はこちらが革新!

- ・交流(縦割り活動の追加)
- ・これまでなかった他の委員会とのコラボ企画

1月

準備期間

4月

前期前半

前期後半

10月

後期前半

12月

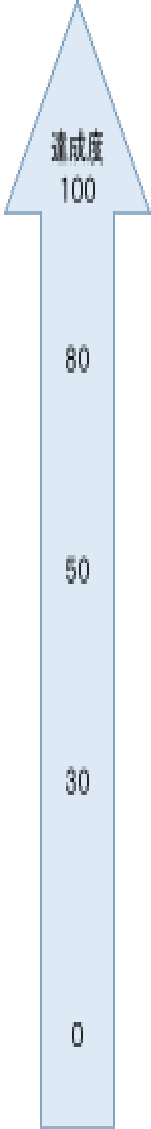


生活委員会
委員長：宮崎佑実 副委員長：今村俊太

学校教育目標
自立・協働・創造
～みんなの笑顔があふれる学校～

この委員会の活動テーマ
よりよい学校作りに積極的な大中

【この委員会で目指す大中学生の姿】※目指す姿が達成されている具体の姿
○ より良い学級づくりに積極的な大中学生
○ 一人ひとりがまわりを考え規則を守るしている大中学生
○ 誰に対しても先取りあいさつができる大中学生



テーマ活動
4～5月 体育大会生活点
8・9月 身だしなみチェック
11月 生活コンクール
12月 生活コンクール表彰

【学校を支える常時活動】
・自転車チェック
・安全ベスト着用の呼びかけ
・1分前着席の呼びかけ
コラボ企画
[保健委員会]
・身だしなみチェック (9月～10月)

【この委員会における大中学生の現状】
前年度までの成果や現状の課題
成果
生活コンクールを通して、
1分前着席をする生徒が増えた。
反省
身だしなみ等の校則を見直す活動が少なかった。



今年が革新！
・身だしなみ等の校則に目を向けた活動を行い、学年関係なく高めあえる関係になる





環境委員会

委員長：山本隼磨 副委員長：前川歩望

学校教育目標

自立・協働・創造
～みんなの笑顔があふれる学校～

この委員会の活動テーマ

環境を大切にする大中

テーマ活動

4～5月 体育大会の役割

6月 呼びかけのポスター

7月 クリーン大作戦1

第一回環境検定

8・9月 点検

10月 縦割り班

第二回環境検定

11月 クリーン大作戦準備

12月 クリーン大作戦2

1～3月 検定の表彰

【この委員会で目指す大中学生の姿】 ※目指す姿が達成されている具体の姿

- 節電・節水できる 大中生
- 環境を大切にしている 大中生
- 無言掃除ができる 大中生

【学校を支える常時活動】

- ・節電・節水呼びかけ
- ・ゴミの分別
- ・ゴミの分別：プラゴミ、紙ゴミなどのゴミを分別する。

コラボ企画

(この委員会と関わる、学校行事・他委員会の活動・校外とのつながり)

- ・(10月)縦割り班活動 学級委員会

【この委員会における大中学生の現状】

前年度までの成果や現状の課題

- 掃除がしっかりできている
- 時間いっぱい掃除をしてる
- ×校内の傷があること
- ×隅々まで掃除ができていない

今年がここが革新！(この委員会の革新のポイントの説明)

- ・新校舎をよりきれいにする
- ・ゴミの分別を徹底する



・環境を意識した大中へ！



達成度
100

80

50

30

0

1月

準備期間

4月

前期前半

前期後半

10月

後期前半

12月



文化委員会
委員長：山中菜摘 副委員長：日野杏南

学校教育目標
自立・協働・創造
～みんなの笑顔があふれる学校～

この委員会の活動テーマ
文化的活動で新しくつくりだされた大中

【この委員会で目指す大中学生の姿】※目指す姿が達成されている具体的な姿
○ 文化的行事を楽しみながら、みんなが中心となって動く大中学生
○ 文化的活動で大中を作り出している大中学生
○ 話し合いが活発でリアクションができる大中学生

達成度
100
80
50
30
0

テーマ活動
4～5月
・だいちゅんコンテスト(体育大会)
6月
・文化ポスター作り
7月
・だいちゅんコンテスト(合唱コンクール)
・合唱コンクール準備
8・9月
・テスト範囲ポイントポスター作り
・合唱コンクール準備・運営(3年)
10月
・合唱コンクール準備・運営(1, 2年)
11月
・テスト範囲ポスター作り
12月
・今年の漢字の募集・発表
1～3月
・年間反省

【この委員会における大中学生の現状】
前年度までの成果や現状の課題
○ 仕事量が少ない
○ 常時活動が文化的活動ではない
○ 合唱コンクールで準備などの協力ができなかった
○ 合唱コンクールの進行が良かった
○ 発言に対しての反応が少ない
○ 目標達成の実感がない
○ 話し合いが活発ではない、話し合わない

【学校を支える常時活動】
・文化関係の掲示物の管理
・文化ポスター作り

【その他活動】
・だいちゅんコンテスト
・今年の漢字
・テスト範囲ポイントポスター作り

コラボ企画
(この委員会と関わる、学校行事・他委員会の活動・校外とのつながり)
・合唱コンクール(9月と11月)
・だいちゅんコンテスト(体育大会、合唱コンクールなど)



今年がここが革新！(この委員会の革新のポイントの説明)

新しい活動の文化ポスター作り、テスト範囲ポイントポスター作り、だいちゅんコンテストを追加しています。特にだいちゅんコンテストでは、各行事ごとに活躍するだいちゅんを募集するという今までにない活動を行います。

1月 準備期間 4月 前期前半 前期後半 10月 後期前半 12月

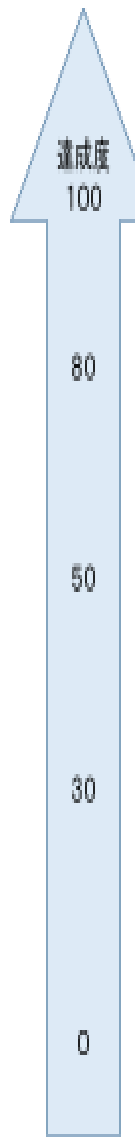


図書委員会
委員長：佐藤 凜 副委員長：山口 煌斗

学校教育目標
自立・協働・創造
～みんなの笑顔があふれる学校～

この委員会の活動テーマ
図書館に親しみ、好きな本を見つける大中

【この委員会で目指す大中学生の姿】※目指す姿が達成されている具体の姿
○読書を楽しんでいる大中学生
○好きな本を見つけている大中学生
○自己管理ができる大中学生



テーマ活動
4～5月 活動紹介
6月 ビブリオバトル
7月 先生のおすすめ本紹介
8・9月 十進分類法ビンゴ
10月 //
11月 booktube作り
1～3月 卒業生の葉づくり

※朝読チェックの時間に
月1～2レクリエーション
例)班で借りてる本を交換

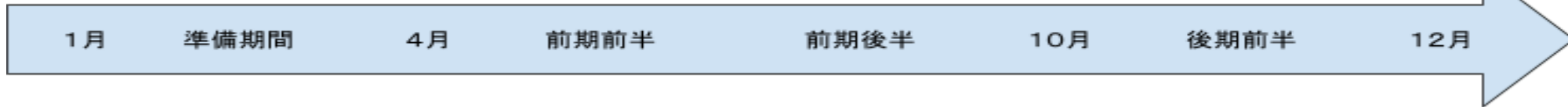
【学校を支える常時活動】
・朝読チェック
・文庫本チェック
・カウンター当番

コラボ企画
(この委員会と関わる、学校行事・他委員会の活動・校外とのつながり)
特になし

【この委員会における大中学生の現状】
前年度までの成果や現状の課題
○ 成果
・交流会に来る人が増えた
・自主的に借りる人が増えた
・図書室に来る人が増えた
○課題
・本への関心が低い
・本を借り忘れる人がいる



今年が**革新**！(この委員会の革新のポイントの説明)
本に触れるきっかけを作るイベントを増やしたところ





放送委員会

委員長：武田一朝 副委員長：中山碧

学校教育目標

自立・協働・創造
～みんなの笑顔があふれる学校～

この委員会の活動テーマ

放送委員会をはじめとした明るい大中

【この委員会で目指す大中学生の姿】※目指す姿が達成されている具体の姿

- 放送を聴くのが楽しみな大中学生
- 放送の指示に従える 従っている大中学生
- 傾聴の姿勢で放送を聞くことができる大中学生

達成度

100

80

50

30

0

テーマ活動

4～5月 体育大会放送

7月中体連特集

8・9月

奉仕委員とのコラボ

10月 陸上大会特集

2～3月 卒業特集

【この委員会における大中学生の現状】

前年度までの成果や現状の課題

- 他の委員会との交流がなかったことや今まで、放送委員会の先輩方がやってきたことを行っているだけだった。

【学校を支える常時活動】

- ・朝・昼・掃除の放送
- ・リクエスト曲の募集

コラボ企画

(この委員会と関わる、学校行事・他委員会の活動・校外とのつながり)
8、9月 奉仕委員会とのコラボ



今年はここが革新！(この委員会の革新のポイントの説明)

- ・奉仕委員会とのコラボ(中国語教室)や学校の課題を解決できるようにする。

1月

準備期間

4月

前期前半

前期後半

10月

後期前半

12月



保健委員会

委員長：藤本伊里 副委員長：今村理央

学校教育目標

自立・協働・創造
～みんなの笑顔があふれる学校～

この委員会の活動テーマ

自ら自分の健康を考えて行動できる大中

【この委員会で目指す大中学生の姿】※目指す姿が達成されている具体的な姿

- 自分の健康は自分で守る
 - 他人の健康のために率先して動こうと
 - 自分の衛生管理
- 大中生
している大中生
ができる大中生

達成度
100

テーマ活動

- 4～5月 /体育大会 救護、
大中レスキュー
- 6月 ハンつめ(~1月)、
キャップ回収 開始
- 7月 大中レスキュー
- 8・9月 /キャップ中間発表、
身だしなみチェック(~10)
- 11月 大中レスキュー
- 1～3月 ハンつめ表彰/
/キャップ 贈る

【学校を支える常時活動】

- ・ハンカチつめチェック
- ・空気清浄機
- ・石けんの補充
- ・窓開け
- ・大中レスキュー

『大中レスキュー』
時期に合わせて、怪我や感染症の
処置や対策を学ぶもの

コラボ企画

- [生活委員会]
- ・身だしなみチェック (9月～10月)

80

50

30

0

【この委員会における大中学生の現状】
前年度までの成果や現状の課題

- ペットボトルキャップが多く集まった
- ハンカチつめ 最後多かった
- × ハンカチ持ってくる人、つめ切ってくる人が少ない
- × 自力で水分補給をしない



今年はこちらが革新！(この委員会の革新のポイントの説明)

- ・大中レスキューを全校向けにしたことで、全校生徒が健康に関心を持って自他の健康を守るために動ける

1月

準備期間

4月

前期前半

前期後半

10月

後期前半

12月



体育委員会

委員長：山本尊 副委員長：北川桜子

学校教育目標

自立・協働・創造
～みんなの笑顔があふれる学校～

この委員会の活動テーマ
活気があり、みんなが学校に来たいと思える大中

【この委員会で目指す大中学生の姿】※目指す姿が達成されている具体的な姿

- 活気があってとても元気な大中学生
- 運動に親しんでいる大中学生
- メリハリがあって楽しむことを全力で楽しむことができる大中学生

達成度

100

80

50

30

0

テーマ活動

- 4～5月 体育大会
- 6月 体育大会の振り返り
体育倉庫の掃除
(1, 2組)
- 7月 他学年交流で何をするかを定める
- 8・9月 他学年交流(縦割り)振り返り
- 10月 体育倉庫掃除
(3, 4組)
- 11月 クラスマッチ準備(3年)
- 12月 クラスマッチ運営(3年)
新委員長決定
- 1～3月 クラスマッチ(1, 2年)
(準備も含め)

【学校を支える常時活動】

- ・体育大会
- ・クラスマッチ
- ・他学年交流

☆他学年交流は今年から始める新しい活動です。
クラスを縦割りにしてレクリエーションを行いたいと思っています。
学級委員会と協力して日程や何をするのかを決めます。

コラボ企画

- (この委員会と関わる、学校行事・他委員会の活動・校外とのつながり)
- ・学級委員会

【この委員会における大中学生の現状】

前年度までの成果や現状の課題
○成果としてはみんなで協力して行事を盛り上げることができていた。
課題としては、協力はしているけど盛り上がっていないのが一部で本当の意味で楽しんでいる人がいると思う。
やることをやって楽しむという、メリハリがある人が少ない。



今年がここが革新！(この委員会の革新のポイントの説明)

- ・新しい活動を始めます。他学年交流など
- ・活動に新しいことを追加します。

1月

準備期間

4月

前期前半

前期後半

10月

後期前半

12月



給食委員会

委員長：西彩夏 副委員長：樋口心美

学校教育目標

自立・協働・創造
～みんなの笑顔があふれる学校～

この委員会の活動テーマ
給食を衛生的に楽しく食べ、食に関心を持つ大中

【この委員会で目指す大中学生の姿】※目指す姿が達成されている具体的姿

- 給食を衛生的に楽しく食べている大中学生
- 給食の栄養バランスについて理解している大中学生
- 給食に関心と感謝の心を持つことができる大中学生

達成度

100

80

50

30

0

テーマ活動

- 6月 お弁当の日
残菜ゼロコンクール
- 7月 お盆洗い
- 9月 食についてのアンケート
- 10月 先生方の好きな給食インタビュー
- 11月 残菜ゼロコンクール
- 12月 お弁当の日
- 1～3月 御礼状

【学校を支える常時活動】

- ・牛乳当番
牛乳パックやストローのゴミ捨て
- ・お盆消毒
- ・ふきんの洗濯
- ・給食前の消毒・着席の呼びかけ
- ・いただきますの号令

コラボ企画

- (この委員会と関わる、学校行事・他委員会の活動・校外とのつながり)
- ・まだ、計画途中です。

【この委員会における大中学生の現状】

前年度までの成果や現状の課題

- 成果
 - ・1人分の量を増やしたり、余った分の給食を配ってまわることによって残菜が減った
- 課題
 - ・残菜が多い
 - ・減らしたり、増やす時間や食べる時間が短い
 - ・時間内に食べることができなかつたり、嫌いなものを残してしまうことで残菜が出る



今年がここが革新！(この委員会の革新のポイントの説明)

- ・給食を好きになってもらうためや残菜を減らすことを目的とした活動をたくさん行っていきます。
- ・残菜の量の調査結果の掲示 ・給食時間を活用した食育活動

1月

準備期間

4月

前期前半

前期後半

10月

後期前半

12月

奉仕委員会

委員長：植原志穂 副委員長：岡田歩

この委員会の活動テーマ

一人一人が自主的に行動できる大中

【この委員会で目指す大中学生の姿】

- 生徒全員が活動に活発な大中学生
- 目標に向かってクラスで前進している大中学生
- 自主的に行動ができる大中学生

テーマ活動

4～5月

ベルマーク集め1年を通して

7月

募金活動

11月

募金活動

1～3月

書き損じハガキ集め

【学校を支える常時活動】

- ・ベルマーク集め
限られた商品についているベルマークを年間を通して集める活動です。
- ・募金活動
- ・書き損じはがき集め

コラボ企画

- ・放送委員とのコラボ 放送で中国語と英語の単語を言う。

【この委員会における大中学生の現状】

前年度までの成果や現状の課題

成果

- ・募金活動に参加してくれる人が多かった。
- ・クラスでの目標に向かってクラス一同が活動に参加していたところもあった。

課題

- ・自主的に行動する人が少ない
- ・委員会の活動に興味がない



今年はこちらが革新！

TSMCができたことにより外国の子どもたちが学校に来ることがあると思うので放送委員とコラボして英語と中国語の単語をみんなに知ってもらおうと放送します。

達成度
100

80

50

30

0

1月

準備期間

4月

前期前半

前期後半

10月

後期前半

12月



人権委員会

委員長：篠崎唯花 副委員長：平野夏帆

学校教育目標

自立・協働・創造
～みんなの笑顔があふれる学校～

この委員会の活動テーマ

一人一人の人権が守られ、学校
が楽しいと思えるような大中

【この委員会で目指す大中学生の姿】※目指す姿が達成されている具体的姿

- 一人一人の役割を果たし、頼られるような大中学生
- 1つ1つの行事や取り組みの意味を理解している大中学生
- 挨拶や返事など日常で当たり前を使うものを人に言われる前にできる大中学生

達成度
100

テーマ活動

- 6月 学年・校内人権集
- 7月 学年人権スローガン作成
- 9月 集会参加への呼びかけ
- 10月 県人権・町人権子ども集会
- 2月 学年・校内人権集会
- 3月 年間反省

〈その他〉

- ・人権集会に取り組む意味を考えて集会を進行する
- ・心の絆を深めるための6ヶ条の唱和を言うだけにせず、確認をする

新しい取組

クラスメイトとのつながりを大切にする
取組(欠席者への連絡確認など)

【学校を支える常時活動】

- ・6ヶ条唱和
- ・人権集会での司会進行

コラボ企画

今のところありません

【この委員会における大中学生の現状】

前年度までの成果や現状の課題

〈課題〉

- ・挨拶がすくない
- ・行事への取り組みの熱が少ない
- ・クラスでのグループ化

〈成果〉

- ・町人権子ども集会で「滑り止め」という言葉が高校間の差別であることを理解できている
- ・集会の司会など一人一人の役割が果たせた



今年が**革新**！(この委員会の革新のポイントの説明)
新しい取り組みをすることで一人一人の「**自主性**」を高めていきます！

1月

準備期間

4月

前期前半

前期後半

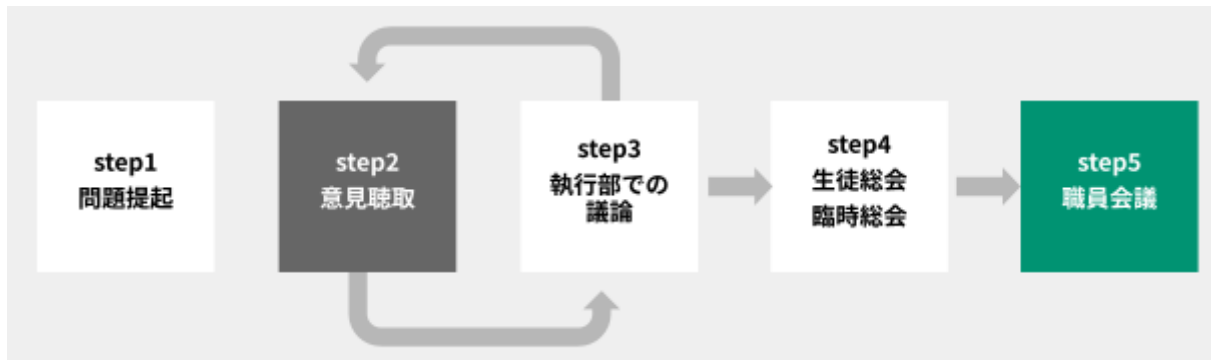
10月

後期前半

12月

第4号議案「今後の校則改正に関して」

【校則改正へのビジョン】 ※昨年度最後の生徒昼会にて説明済み



【今後の具体の予定】

▶月に2度のベタスク会議での議論

参加者：生徒会執行部

「私たちの学校は私たちが創る」という理念のもと、校則改正までの過程を重視する。会議の中では、校則の目的や本質などから考える。最終的には合理的ではない・改正すべき校則を挙げ、それによる影響やメリット、デメリットなどあらゆる視点から考え、合意形成をとりながら活発な議論にしていく。

▶定期的な生徒モニター制度による生徒の意見の集約

▶現に校則を改正している学校との協議

▶試験的な実施(靴下など)

▶臨時総会による改正する校則の議決

